

IV-10 緩和ケアに関する地域連携促進のために、どのような講演会を望むか

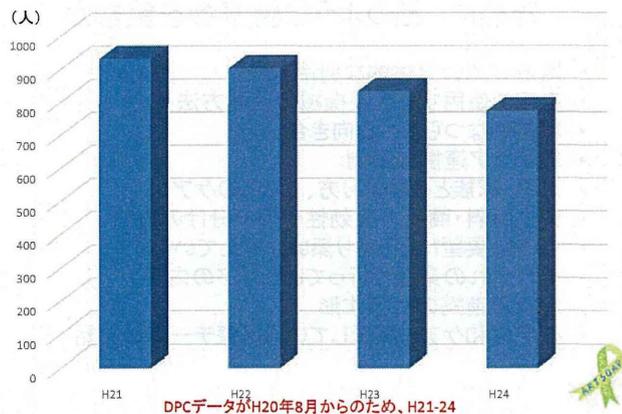
- 医療資源の具体的な利用方法
- 在宅で使用する医療機械の使用方法
- 精神的なつらさへの向き合い方
- 緩和ケア連携の事例
- 患者・家族との関わり方、こころのケア
- 衛生材料・商品の有効性や使い分けの方法
- 患者の要望にどう寄り添いかなえていくか
- それぞれの業種で行っているケアの内容
- 今後の連携の目指す形
- 在宅緩和ケアを実践している医療チームのお話

岩手県立大船渡病院
+ 岩手県立高田病院

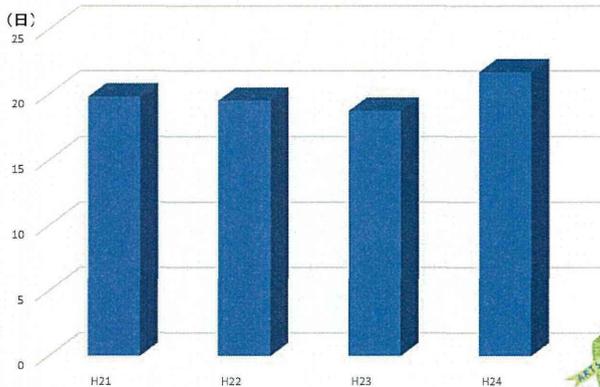
「麻薬消費量、化学療法の推移」



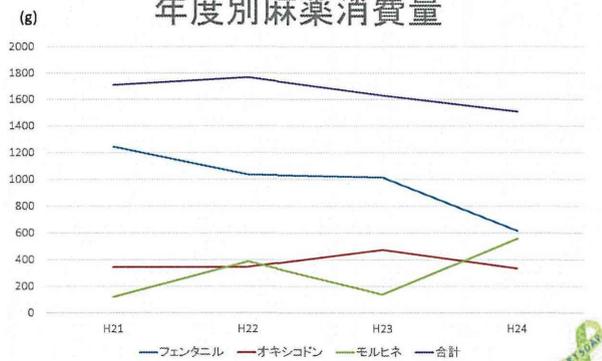
年度別がん患者入院数



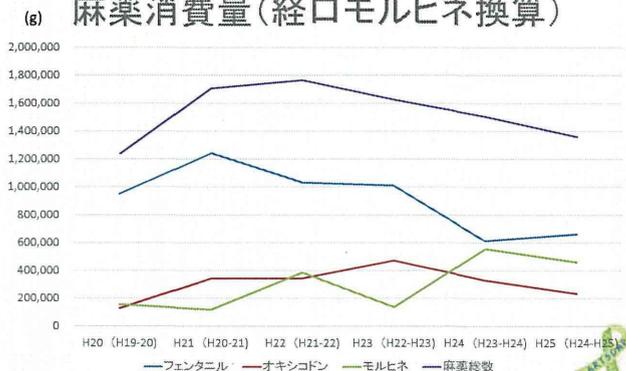
平均在院日数



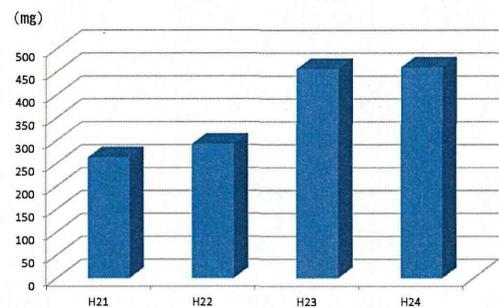
岩手県立大船渡病院
年度別麻薬消費量

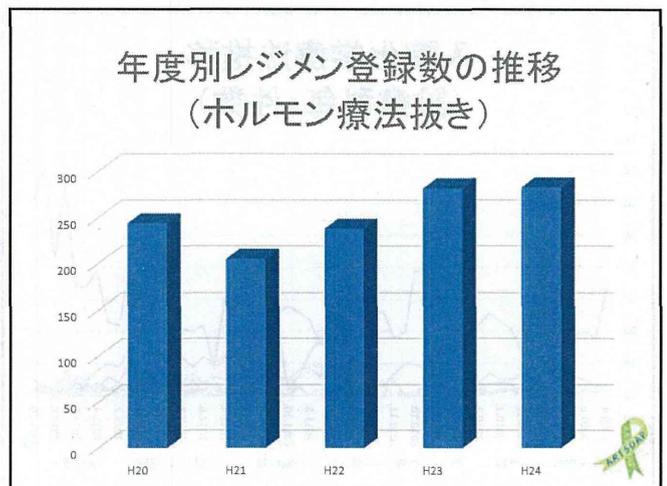
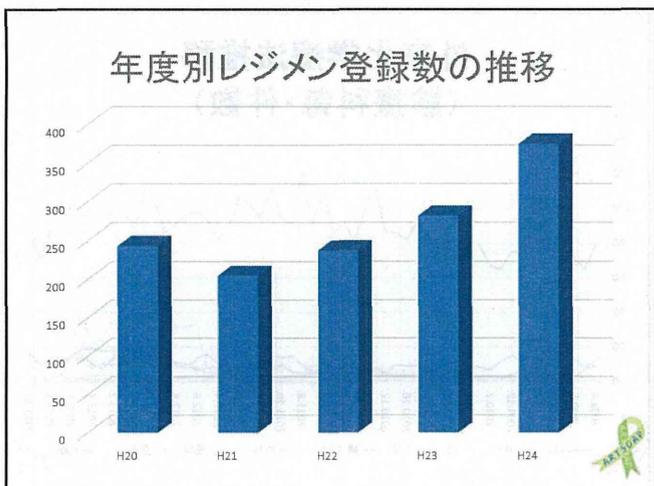
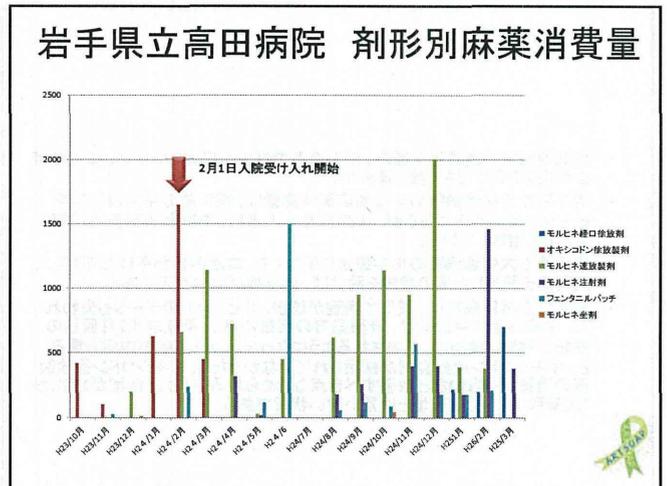
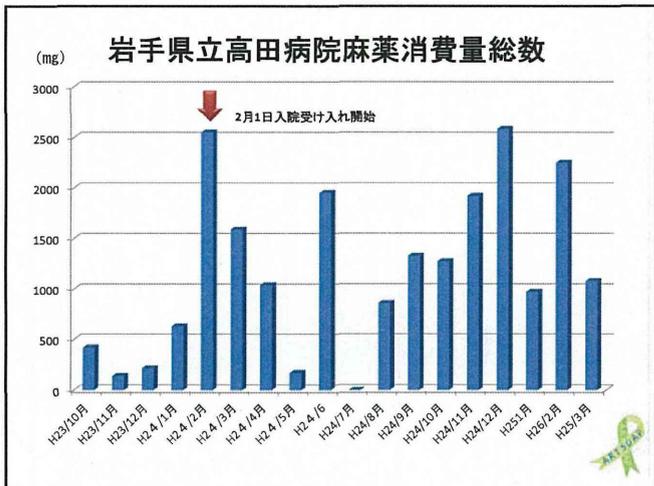
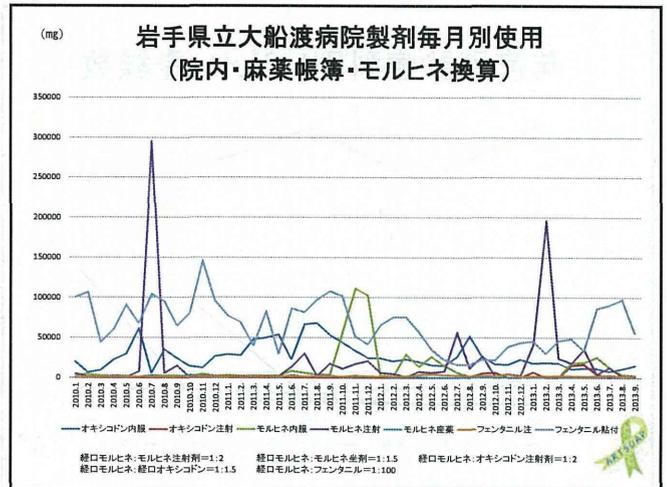
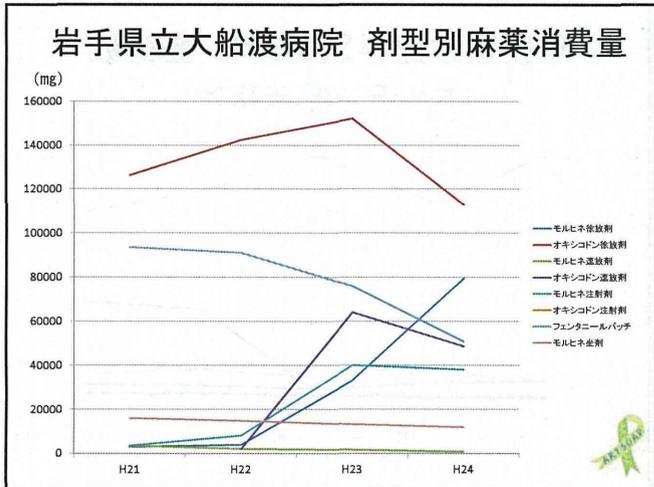


岩手県立大船渡病院年度別
麻薬消費量(経口モルヒネ換算)

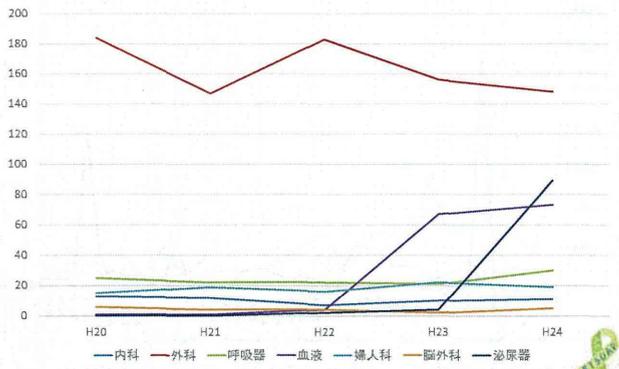


岩手県立大船渡病院
入院患者1人当たりの医療用麻薬消費量

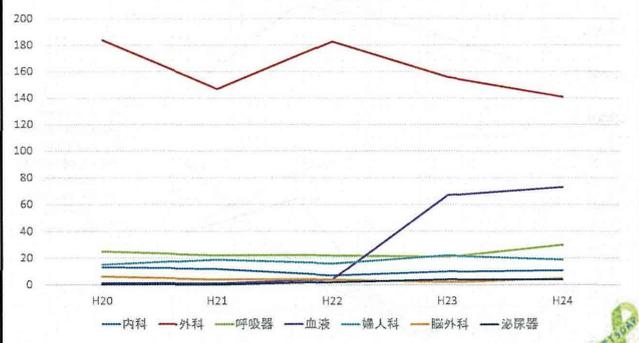




年度別診療科別レジメン登録数

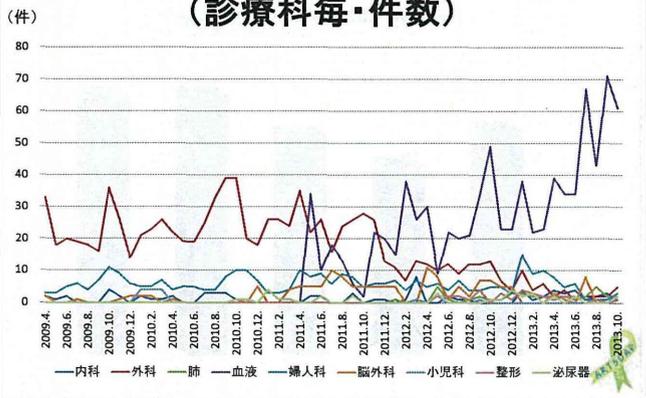


年度別診療科別レジメン登録数 (ホルモン療法抜き)

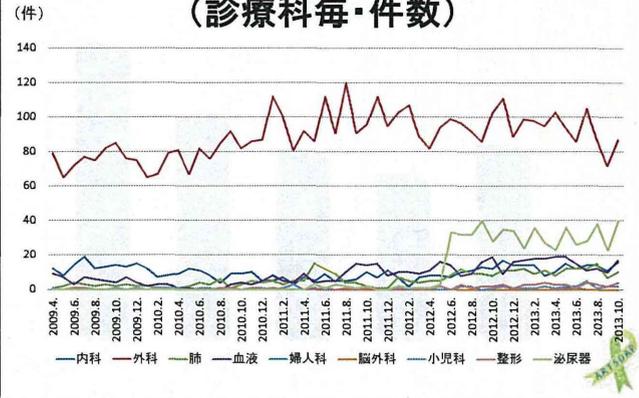


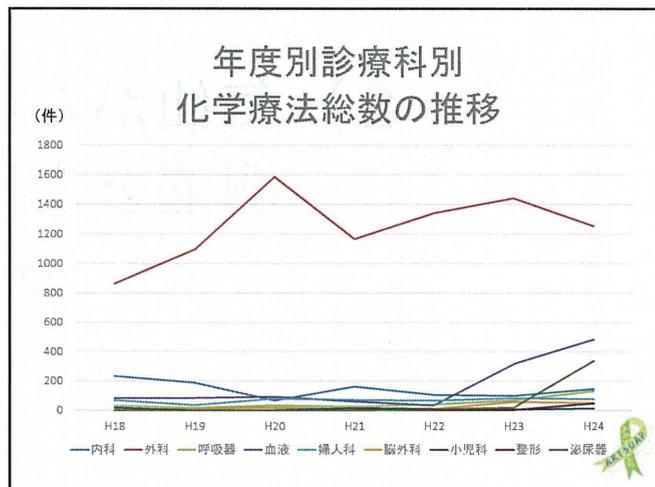
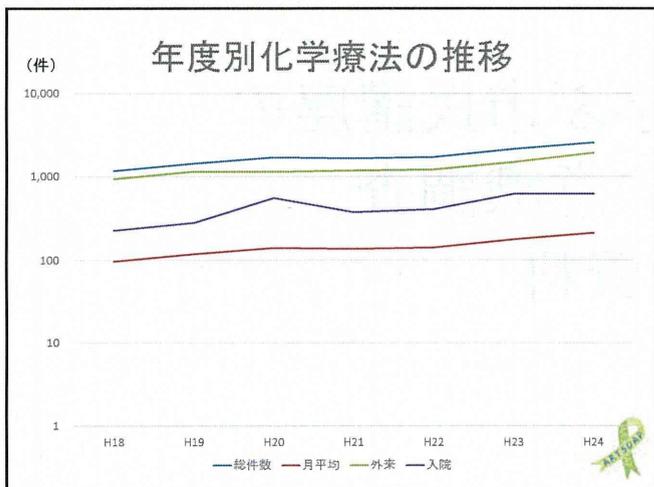
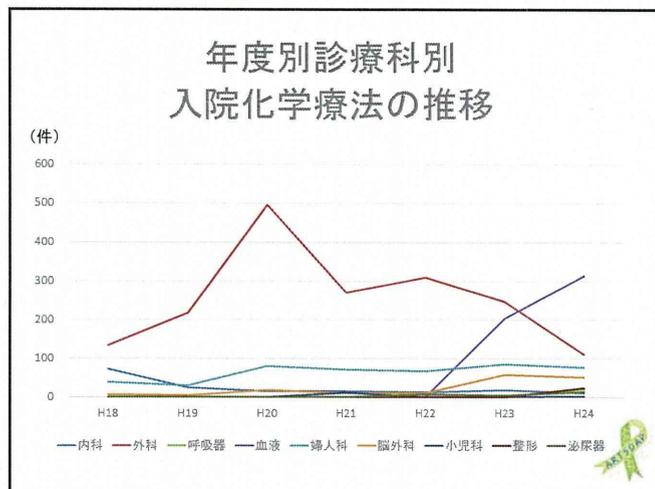
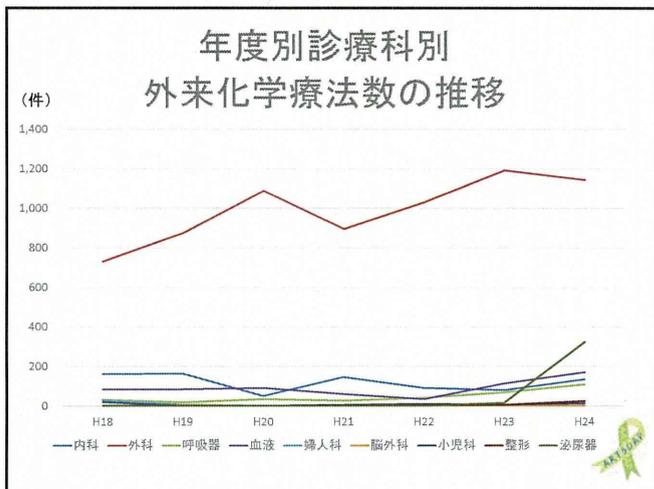
- ・ 気仙地域では過疎化が進み、がん患者の減少を認めていたが、震災は減少傾向を2倍の速さで推し進めた。
- ・ 岩手県立大船渡病院の年度別麻薬消費量は、震災前の平成22年度をピークに減少傾向にあるが、入院患者一人当たりの麻薬消費量は、震災後むしろ増加している。
- ・ 岩手県立大船渡病院の化学療法に関しても、血液内科が平成23年4月入院対応を開始した後の増加を除けば、ほぼ横ばいの状況である。
- ・ 岩手県立高田病院は、震災で病院が壊滅しオピオイドのデータも失われた。平成23年10月以前は、麻薬処方の実績が無く、平成24年2月仮設の病棟が稼働し始めて、処方されるようになった。しかし、処方内容を見ると、オキシコドン速放製剤が採用されていなかったり、オキシコドン徐放製剤の消費が少ないなど改善すべき点も認められる。(また、個室が1室しかなく看取りに適した環境とは言い難い状況である。)

入院化学療法推移 (診療科毎・件数)



外来化学療法推移 (診療科毎・件数)





2) 気仙がんを学ぶ市民講座の
開催と市民の意識調査
活動資料

第3回

気仙がんを学ぶ市民講座

がんになっても、住み慣れた町で
安心して暮らしたい

話したり聞いたり、泣いたり笑ったり、
生きる力に出会い、生きる力を得る

がんの体験を 分かち合おう

気仙がん 患者サロン 愛称募集

申込締切
平成25年5月31日

がん患者サロンとは、
がん患者さん達が語り合い、
お互いを支えるための場です。

この度、気仙地域に初めてこのような場を
作りたいと思いますので、気仙地域の
皆様から広く愛称を募集いたします。
電話又はFAXでARTSOAP事務局
までお寄せ下さい

6月8日市民講座において、
愛称を発表したいと
思います。

日時

2013年6月8日(土)

13:30~15:30 [開場13:00]

会場

大船渡市民文化会館
リアスホール マルチスペース

参加
無料

対象

大船渡市・陸前高田市・住田町に
お住まいの方 先着250人

第一部

「患者力が仲間を支える～愛媛での取り組みから～」

講師

NPO法人 愛媛がんサポート
「おれんじの会」理事長 松本陽子

第二部

「がん患者サロンを気仙に作ろう」

講師

岩手県立大船渡病院
緩和ケア認定看護師 武田 彩

電話またはFAXで下記へお申し込み下さい (受付時間 9:00~17:00 締切:6月7日)

■お問い合わせ ARTSOAP (アートソープ) 事務局 TEL21-6001・FAX21-6002

大船渡市大船渡町字山馬越10-1 (大船渡病院内) ☒ oofunato-hp@orion.ocn.ne.jp 担当:熊谷

第4回

気仙がんを学ぶ市民講座

がんのつらさを

和らげる

がんになっても、
住み慣れた町で安心して暮らしたい。

毎日の生活で生じる悩みや不安、
がんと共に前向きに生活できるために



日時 2013年11月23日(土) 13:30~15:30 (開場13:00)

会場 大船渡市民交流館 カメリアホール 多目的ホール

対象 大船渡市・陸前高田市・住田町にお住まいの方 先着250人

参加
無料

第一部

「がんの痛みを我慢しない」

講師 国立がん研究センター
緩和医療科長 的場元弘

第二部

「気仙における緩和ケア」

講師 岩手県立大船渡病院
緩和医療科長 村上雅彦



電話またはFAXで下記へお申し込み下さい (受付時間 9:00~17:00 締切:11月22日)

■お問い合わせ ARTSOAP (アートソープ) 事務局 TEL21-6001・FAX21-6002

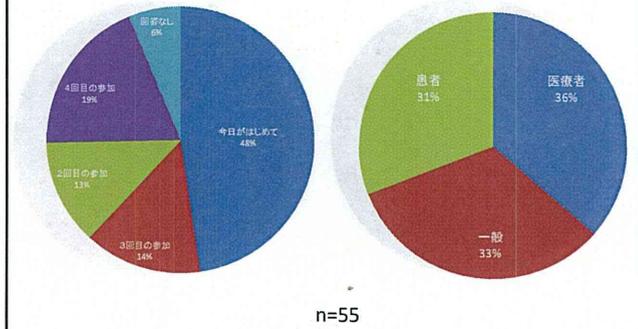
大船渡市大船渡町字山馬越10-1 (大船渡病院内) ☒ oofunato-hp@orion.ocn.ne.jp 担当: 熊谷

【患者サロンよりどころ】毎月第2土曜日開催 (11月9日・12月14日) お問い合わせ: 0192-26-1111 (内線2160)

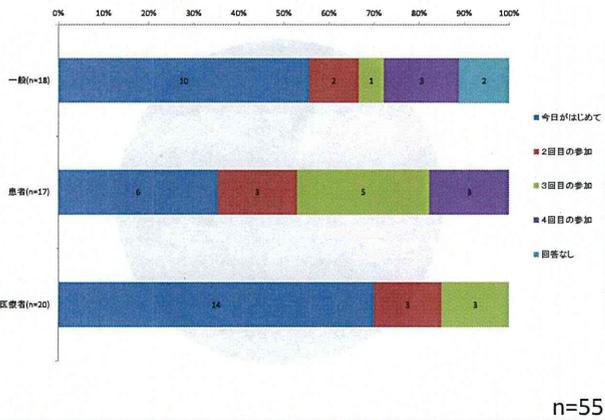
〈共催〉気仙地区がん診療連携協議会 (岩手県立大船渡病院・岩手県立高田病院・大船渡保健所・大船渡市・陸前高田市・住田町・気仙医師会・気仙歯科医師会・気仙薬剤師会・岩手県看護協会大船渡地区)・ARTSOAP
〈後援〉岩手県がん診療連携協議会

第4回 気仙がんを学ぶ市民講座 アンケート結果(一般)

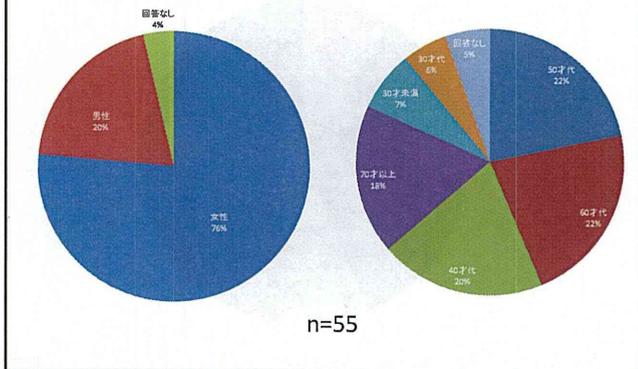
参加者の参加回数・属性



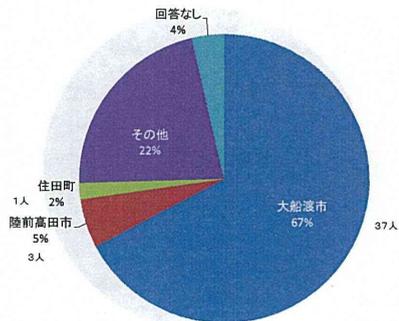
参加者の参加回数(属性別)



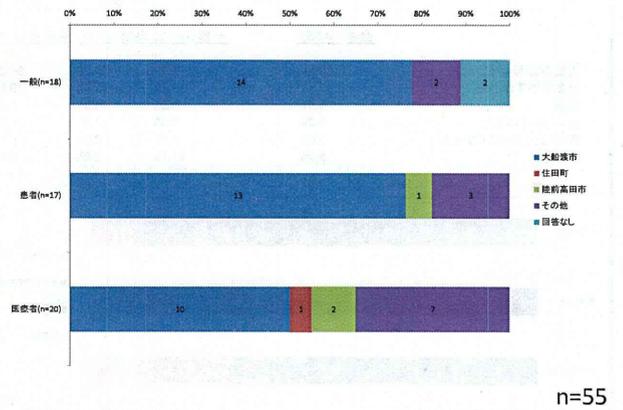
参加者の性別・年齢



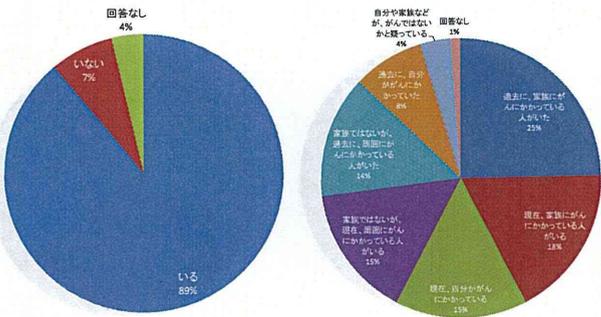
参加者の居住地域



参加者の居住地域(属性別)

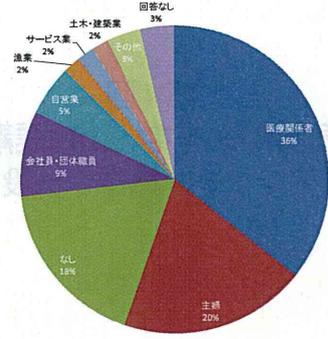


がんととの関わり



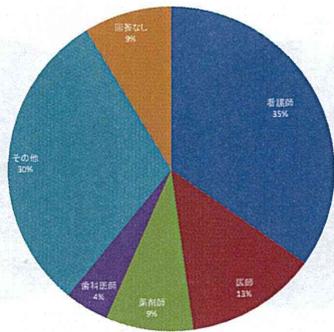
n=55

職種



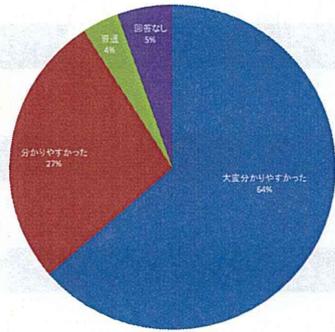
n=55

職種(医療関係者)



n=55

市民講座のわかりやすさ



n=55

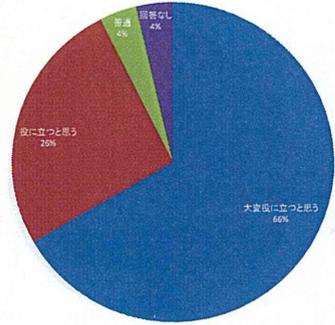
市民講座のわかりやすさ(属性別)

	全体(n=55)	属性		
		一般(n=18)	患者(n=17)	医療者(n=20)
大変分かりやすかった	63.6%	66.7%	64.7%	60.0%
分かりやすかった	27.3%	22.2%	29.4%	30.0%
普通	3.6%	0.0%	5.9%	5.0%
分かりにくかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
非常に分かりにくかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答なし	5.5%	11.1%	0.0%	5.0%

属性	大変分かりやすかった	分かりやすかった	普通	回答なし
一般(n=18)	12	4	2	0
患者(n=17)	11	5	1	0
医療者(n=20)	12	6	1	1

n=55

市民講座の役立ち度



n=55